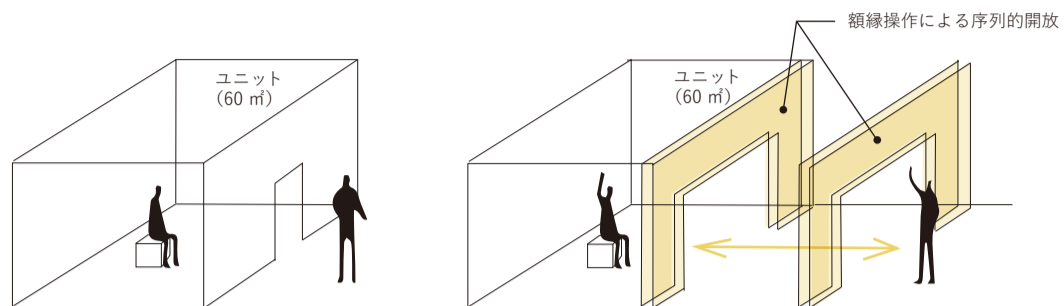


「開放されるユニット」

RM造は概ね60㎡の構造区画（ユニット）がプランの制約になりがちだ。
自由な空間体験を得るためユニットの一边を大きく開放し、空間の連続性を高めるようにした。開口に割いた耐力は二重の壁で補っている。二重壁は断熱層・パイプスペースの役割も果たし、同時に水密性も高めている。



ユニットの大開口は平面的な広がりだけでなく、吹抜けやスキップフロアを介して大きなボリュームを人々が共有できるようにしている。建物をめぐるスロープは、外部から廊下、屋上へとひとつなぎで建物を貫通、周回する。単なる動線だけでなく、ボリュームの一体感と内外の連続性を強調する装置となっている。

